



ゴールデンウィークが明け、学校では、いよいよ運動会の練習も始まりました。

4月から今日までの間、様々な学習・学校行事等におきまして、保護者や地域の皆様へのお声かけをさせて頂いております。特に、歓迎遠足や歓迎集会では、たくさんの皆様にご参加下さいました。横断歩道に立って、自主的に交通指導をして下さったり、公園で子どもたちと遊んでくださったり、とてもありがたかったです。また、何よりも、子どもたちが一番喜んでいました。

また、1年生の朝顔の種まき、3年生の校区探検、1、4年生の交通安全教室、わかき学級の梅干し作り・・・などなど、たくさんご協力頂いております。

ある教育誌に、こんな校長の話が紹介されていました。

ある小学校のB校長は保護者や地域住民に学校支援を依頼すると、保護者たちからは、「先生たちを楽にさせるために協力するのですか」という疑問が寄せられたという。そこで、次のように理解を求めた。

「教員の仕事を『10』だとすれば、そこに皆さんの力が『+2』加われば教育の効果は『12』になります」と説明した。図式で表せば「10(教員の業務量)+2(保護者による学校支援量)=12(教育効果)」だと分かりやすく説いた。当初、保護者は「10+2-2(教員の負担軽減)=10」と誤解していたからである。その後、保護者の納得を得て、支援活動が広がり、ボランティアの人数は急速に増えていった。

ただ、私は、

$10(教員の業務量) + 2(保護者・地域による学校支援量) = 15 \sim 20(教育効果)$

だと思っています。つまり、教員と保護者・地域の皆様が共に子どもを育てることで、単に数を合わせた以上の教育効果が期待できると考えます。その教育効果は、そのまま、子どもたちの笑顔につながっていくことでしょう。

今後も、様々な学習・行事において声をかけさせて頂きます。ぜひ、気負わず、気楽な気持ちでご参加・ご協力頂けると嬉しく思います。

～「校長先生へのお手紙ポスト」から～



- いつもしんごうきのところでみまも(っ)てくれてありがとうございます。これからもわたしたちのことをみまも(っ)てください。(1年生より)
- いつもみんなのことお(を)まも(っ)てくて(れ)てありがとうございます。(1年生より)
- いつもありがとうございます。いつもてつだってくれてありがとう。だいすき。(1年生より)
- こうちょうせんせいいつもありがとうおうえんしてくれてありがとうございますだいすきだよこれからいっぱいよろしくねいつもすっごいうれしいよありがとう。(1年生より)
- 校ちょう先生げん気ですか。きのう学校たんけんがありました。1年生といろんなお話をして1年生のことをよくしれました。また学校たんけんをしたいです。土よう日にいちごがりに行きました。いろいろなかたちがありました。つぎは、もっとおもしろいかたちのいちごを見つけたいです。(2年生より)
- わたしは、この前はじめてのクラブをしました。わたしが入っているのは「手芸クラブ」です。先生は、むらさき先生と岩きり先生と森下先生です。早く作ってみたいです。(4年生より)
- 校長先生、いつもお世話になっております。5月2日の歓迎集会、子どもが入学して初めて見ることができてうれしかったです。どの学年の子たちも、とっても上手で面白かったのですが、これだけのことを1か月弱で練習して見せれるくらいに仕上げた先生や子どもたちがすごいなあって、その背景を思うと感動して涙が出ました。校長先生のご挨拶も元気で明るくて、とても前向きになれる言い方をされていて素敵でした。私達にも声をたくさんかけてくださり、体育館や遠足に出発する列に入るのを促して下さったり、たくさんのお気遣いが、とてもありがたかったです。今年は、子どもたちのいろんな姿を見られそうで、「開かれた学校」と感じて嬉しく思います。平野小のホームページも、たくさん更新されていて、いつも楽しく拝見しております。本当にありがとうございます。私達も、学校のためにできることがあれば、何でもお手伝いできたらと思っています。今後ともよろしくお願い致します。そして、これから運動会の準備等でお忙しいと思いますが、暑くなりますのでご自愛ください。(保護者の方より)

今回、ある保護者の方からも、ポストにお手紙を頂きました。丁寧で温かい励ましの言葉を本当にうれしく思います。ありがとうございます。今後も、何かありましたら、ぜひ、ご投函下さい。(お叱り・ご意見等でも構いません。)